

### 「Lifeline」

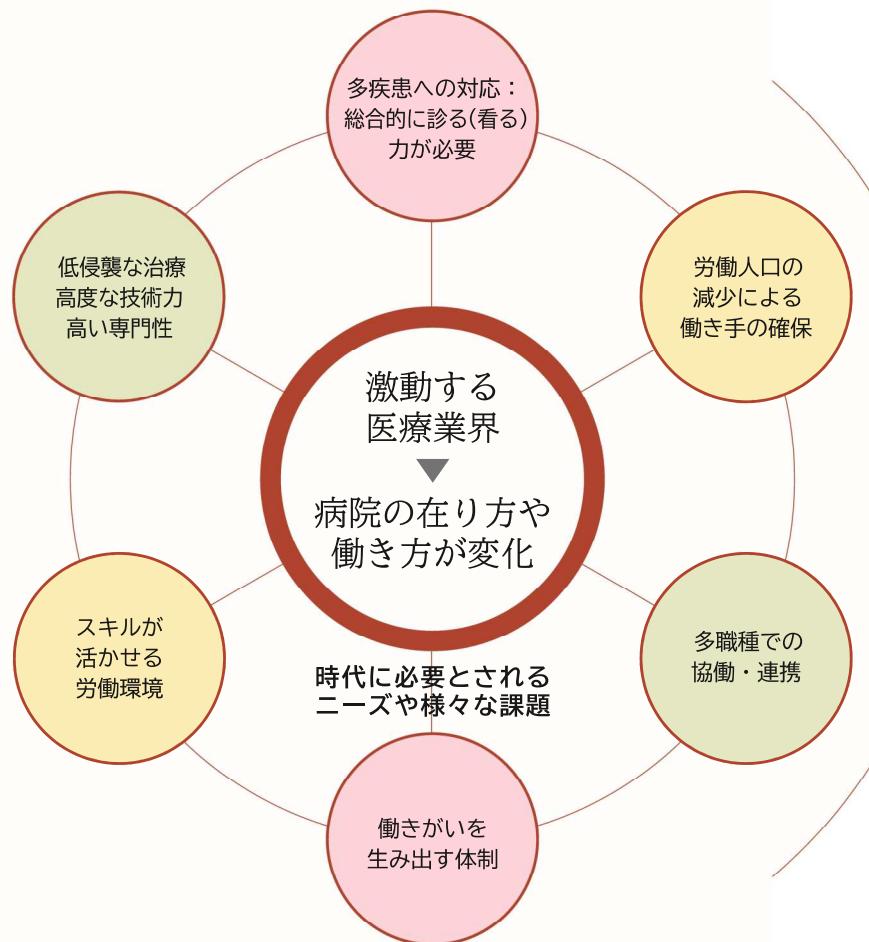
HITOのすぐそばに、寄り添うようにまっすぐ伸びる一本の線。  
それは「いきるを支える」医療を目指す、HITO病院のシンボルラインです。  
まさに生命線である医療の場は、  
いつでも温かい血が通い、情熱に溢れています。

活躍できる場は、地域にある。

「働き手の長所を活かせる環境を」  
「未来を見据えた取り組み」



超高齢社会や人口減少を迎える  
今、時代の流れは激しく変化している…



働き手の長所を活かせる笑顔ある環境を。



どのフェーズでも働くことができる。  
スキルを活かすことや身につけることも可能。

### ① 診療フェーズ

#### 総合診療

多疾患を抱える高齢者が増え、  
総合的な診療が求められる  
どの専門治療が必要か見極めることが大切

#### 専門医療

いかに低侵襲な治療ができるかが重要  
そのためには、高度な技術力と  
それを支えるための設備や体制が必要

### ② 入院フェーズ

#### 高度急性期・急性期

2次救急病院として救急医療の提供

#### ポストアキュート・サブアキュート

お家に帰れるようになるまで  
見放さない治療を

#### 回復期

自宅に帰って自立した生活を  
送ることができる ADL の回復を

#### 慢性期

自分らしく最後を迎るために

### 介護・福祉施設

#### 在宅医療

退院後の生活も支える仕組みが必要

#### 介護・福祉施設

自宅での生活が厳しいときの受け入れ先を

#### 未病・予防

健康意識を向上し、病気を防ぐことが大切

総合診療医：専門医との連携、  
次世代に必要とされる医師像  
後期臨床研修医の総合診療プログラム  
専門医療に繋ぐトリアージ機能  
(統合型歩行機能回復センターなど)

手術室やその他の設備など  
高度な技術が必要な手術への支援  
職種の垣根を超えて治療にあたる  
5つのセンター機構を保有  
認定看護師など資格取得支援

救急・HCU・急性期病棟を有し  
地域の救急医療を支える

地域包括ケア病棟にて  
急性期以後の治療や  
レスパイト入院の受け入れ

回復期リハビリテーション病棟  
離床早期からの 365 日の  
リハビリテーション

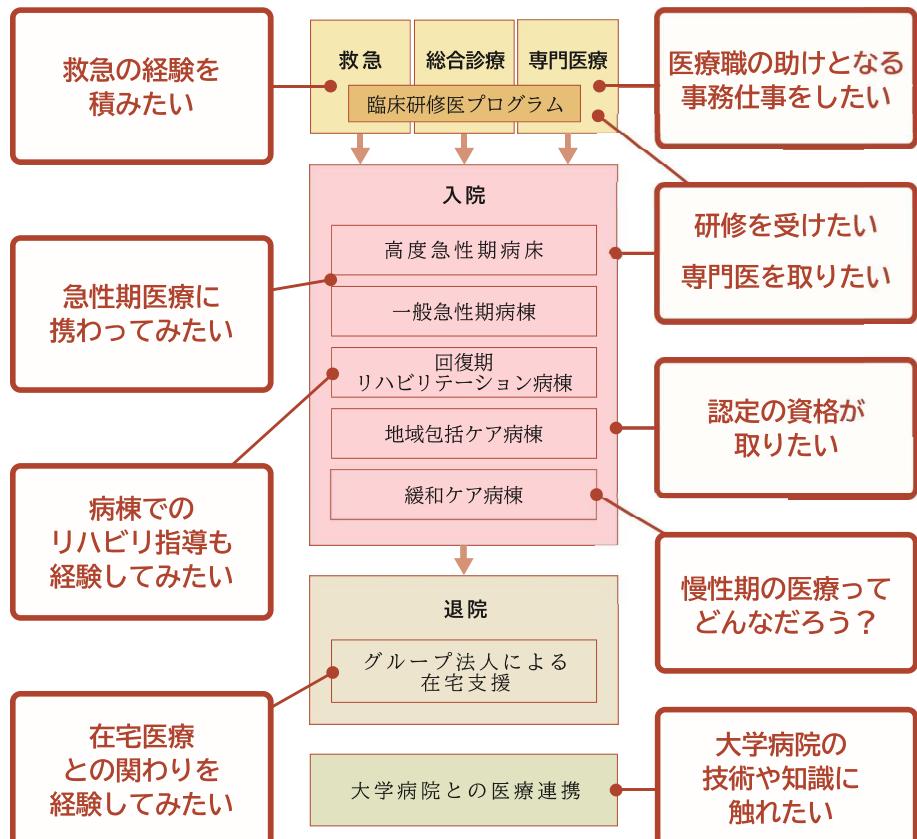
緩和ケア病棟  
臨床心理士による精神的ケア  
がんチームによる早期支援

グループ法人による在宅診療から  
訪問看護・介護・リハビリまで提供

特養や障害者デイサービスまで  
介護福祉施設も充実

総合健診センターによる予防医療  
行政や企業とコラボした講演会や  
疾病番組の放送など未病への取り組み

多様な人たちが活躍できる場や学べる環境がある

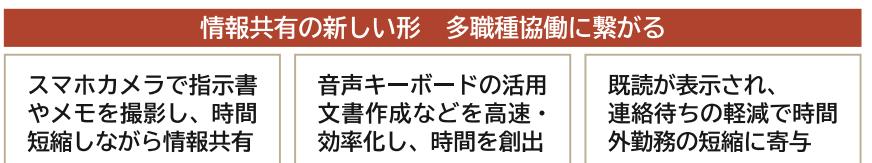


## 未来を見据えた取り組み

低侵襲な治療や高度な技術力の維持、スキルを伝承する働き手の確保などのニーズに応えるために、ICT,IoTを活用することで「業務効率化」を図り、「医療の質向上」に取り組んでいます。また、同時に多様な働き方が可能な環境の整備にも努め、「働き方改革」も推進しています。

### ■ 院内 SNS「LINE WORKS」の導入

今まで院内連絡は PHS が主で、連絡時にタイミングが合わなかったり、確認や記録のメモなどの手間を効率化するため、院内 SNS として「LINE WORKS」を導入しました。



### ■ 音声認識ソフトの活用

話した内容がテキストデータに自動的に変換される音声認識ソフト「AmiVoice®（アミボイス）」を導入しており、業務の効率化に取り組んでいます。

＜実績＞情報提供書作成時間が約半分に短縮！

- キーボード入力 : 6分15秒
- AmiVoice® 使用 : 3分13秒



### ■ iPad® の活用

高齢化が進み、慢性化・複合化した疾病対応で、専門外の知識も求められるため、診療ガイドラインや実臨床データをすぐに確認できるiPad®を活用しています。

## マルチステージの人生

生涯にわたる学びが重要となる。伝えることは、自身が学ぶことに他ならない。  
テクノロジーで現場を支えながら、生涯学び続けることができる環境がここにはある。

「活躍できる場は、地域にある。」



### 新たな手術室を開設

- 超高齢社会の到来に伴い、低侵襲手術が求められる時代  
術中 CT や手術ナビゲーションシステムは、安全・確実な手術目的はもちろんのこと、  
**手術教育支援機器としての展開も期待できる。**

地域での外科医師育成

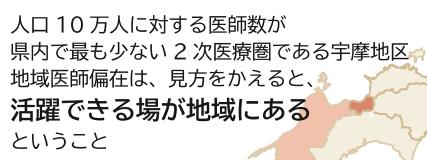
- 非圧縮画像伝送システムとIPネットワークで遅延なく  
手術に必要な情報を大型モニターへ統合



### 求められる低侵襲治療・在院日数短縮

- 最新鋭の移動式術中 32 列ヘリカル CT (日本初導入)  
「AIRO」(BRAINLAB) を活用したナビゲーション手術

高度な技術を支援する設備	正確な術中情報
手術精度の向上	合併症回避



都市部より一步先をゆく  
高齢化に対応した医療を実践し、  
その経験を今後に活かす  
また、豊富な経験をもつスタッフが  
地域で、次世代にスキルを伝承する



専門医として経験を積める環境がある  
医師を中心とした  
ピラミッド型ではない、  
これから求められる  
**多職種協働医療の実践**

Mobile Viewer(TechMatrix)や、  
Quentry(BRAINLAB)などの  
クラウドサービスで  
遠隔でも画像を確認  
新しい働き方を創出

理想や目標を実現するあなたを支えたい。  
生きがいをもって働く日々で、輝ける笑顔を。

私たちの目指す医療は、患者さまを1日でも早くいつもの前向きな生活に送り出すために「いきるを支える」医療を実践することです。医療の世界で働き、十分な治療やケアを行うためには、知識やスキルを身につけたり、医療職を支援する最新の設備も必要です。当院は、それらを学んだり、持っているスキルを活かすことができるような環境づくりに努めています。

医療職だけではなく事務職も含めた全ての職員が、生きがいをもって働く、笑顔あふれる病院にしたいと私たちは考えています。



笑顔あふれる病院で  
あなたの「働くを支える」  
未来を共に創っていきましょう！